

2017

7

July
No. 292

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations



工人さん、喜んでくれるかな

工人まつり出店者看板づくり

主な内容

ふるさと会津工人まつり	2	図書のご案内	8
てわっさの里まつり・山と木の市場	3	町史編さん室だより	9
みしま支援隊申込受付スタート!	4	地域おこし協力隊活動報告	10
まちの話題	5	宮下病院からのお知らせ	11
町民記者通信	6~7	情報配信	12~15
健康で元気な毎日!	8	町長日記	16



1. てわっさの里まつり初日の宮下地区内。歩行者天国ということもあり賑わいを見せました。
2. 一般家庭のすぐ脇を通ってお店を探すのも珍しい体験ではないでしょうか。
3. 山と木の市場「もくれん」入口付近。様々な木工製品が出品されています。
4. 会場入り口。大きな丸太が目を引きま

「てわっさの里まつり」
 工人まつりと同日開催の「てわっさの里まつり」が宮下地区で行われ、約5千人の来場者で賑わいました。期間限定で歩行者天国となり、いつもの宮下地区とは違う雰囲気となった会場では、73店舗が軒を連ね（うち町内31店）編み組細工の他、染織、陶器、木工、ガラ

又細工、会津木綿の小物、古布をつかった布製品、とんぼ玉を使ったアクセサリーなど、バラエティに富んだ作品が並び、来場者の目を楽しませていました。

「山と木の市場」
 同じく同日開催で、「森のしごと舎」で開催された「山と木の市場」では、

今年も福島県内初の木育をコンセプトとした木育広場「もくれん」による、おもちゃまつりを開催しました。その他にも、木挽き体験や杉の丸太切り競争などの催し物が開かれ、木に触れる絶好の機会となりました。



表紙の写真から

（広報担当より）今月の表紙は5月30日、31日に行われた、三島小児童による工人まつり出店者の看板づくりでの一枚です。工芸館職員の指導のもと、町民センター大ホールで、子どもたちの自由な発想で看板を描きました。はじめは遊び半分か、という雰囲気を感じましたが、アイデアがまとまると一気に集中し、どどん看板を描きあげていきました。さすが三島小の子どもたちだと感じました。



1. 初日午前中の様子。会場は多くの来場者で賑わっています。
2. チャリティーオークションの様子。
3. 工人たちとの会話は魅力的な交流が生まれます。
4. 今年も出店者の看板の一部は三島小児童に作ってもらいました。（次ページ下参照）



第31回 ふるさと会津 工人まつり

逸品求めて2万3千人の来場者

町最大のイベント「第31回ふるさと会津工人まつり」は6月10、11日の2日間、生活工芸館前で開催されました。両日も曇りがちで、一時的に雨が降りましたが、県内外から2日間で約2万3千人の来場がありました。特に来場者の多かった初日では、今年新たに国道400号沿いの臨時駐車場を増設しましたが、すべての駐車場が埋まり、駐車場待ちの車が国道まで溢れました。

出店状況は、北は青森県から南は熊本県までの全国各地から応募があり、193のお店が軒を連ねました（うち町内33店）。

会場ではヤマブドウ・マタタビ・ヒロクなどの編み細工が変わらぬ人気で、来場者は作品を熱心に眺めたり手に取ったりしながら、工人たちとの会話を楽しんでいました。

30 分で学べる健康教室
宮下病院で「愛ばんしょ外来」開催

宮下病院では、今年度より「愛ばんしょ外来」を開設し、介護などの相談を受けたり、健康教室を開いています。6月22日は、「寝たきりの原因ロコモを予防しよう」と題して健康教室を開催し、原因と予防についてお話がありました。健康教室の予定は広報などに掲載していますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



(今月の予定は11ページに掲載しています)



健 康長寿の第一歩
総合健(検)診が行われました

総合健(検)診は6月14日～16日、18日に町民センターで行われました。生活習慣病の初期は自覚症状が少なく、病状が出たときには病気が進行していることがあります。そのため、町では「病気になる前にリスクを見つけ予防する健(検)診」を目指し、特定健診、後期高齢者健診等を受けたすべての方に、その場で保健師や栄養士による保健指導を受けていただき、生活習慣病にかかるリスクの軽減に努めています。これからも健康で元気な毎日を送れるように、継続して検査を受けましょう。

なお、診断結果は今月末～8月に配布されます。「要精検」、「▲」などが結果表に記載されている場合は必ず病院で受診してください。結果の中身がよくわからない場合は、町保健師まで相談して、健康管理に努めましょう。

町民課保健福祉係 ☎48-5565



今 年も熱戦繰り広げられる
夏季ビーチバレー大会が開催されました

公民館・教育委員会が主催する平成29年度夏季ビーチバレーボール大会が6月21日、6月22日の2日間行われ、年齢制限のある1部に4チーム、フリー参加の2部に4チームが参加し、両部門とも総当たり戦が行われ、白熱した試合が展開されました。

1部では連係プレーが光った「NBC」チーム、2部では豊富な運動量で試合の主導権を握った「ヒートブLOW」チームが優勝を飾りました。次回大会は秋頃開催の予定です。多数のご参加、応援をお待ちしています。



1部優勝：NBCチーム



2部優勝：ヒートブLOWチーム

三島町地域支え合いサービス事業
「みしま支援隊」 申込受付スタート!



住民同士が支え合う地域づくりの推進と、働く意欲のある方々の就労機会の提供を目的とした、三島町地域支え合いサービス事業「みしま支援隊」をスタートします。

家事の援助や庭の手入れ、草刈りや農作業など、個人・事業者を問いませんので、支援を必要とされる方は、お気軽にお問い合わせください。

【事業の内容】

支援を必要とされる方や事業者等からのサービス申込を受けて、みしま支援隊員が有償でサービス提供をする事業です。

【サービス内容と利用単価】

以下に記載のないサービスについてもご相談をお受けしますが、内容によっては、お引き受けできない場合もございますので、予めご了承ください。

	サービス内容	時間単位	利用単価
軽作業	<ul style="list-style-type: none"> 家事援助(掃除、洗濯、調理など) 倉庫整理 庭の手入れ 買物代行 その他の軽作業 	1時間	800円
重作業	<ul style="list-style-type: none"> 子守り 草刈り 農作業 雪囲い お裁縫 毛筆代行 その他重作業 その他の技能作業 	1時間	1,000円

- ※ 作業時間は、原則午前8時30分から午後5時までとします。
- ※ 1時間未満の作業時間は、30分単位の切上げで計算します。
- ※ 作業に要する道具や材料等は、原則利用者提供となります。
- ※ 作業に要した機械等の燃料費は、別途利用者負担となります。

【申込受付・お問合せ】

町民課 保健福祉係
TV電話 48-5555
固定電話 48-5565



名入ざる菊園で苗作り作業 文・写真 五十嵐公男さん(名入)

5月21日、名入ざる菊園(代表:五十嵐公男)の会員10名(うち地区外会員3名)により、ざる菊の苗作りが行われました。昨年に続き、にわか講師のT.Kさんによる、基本作業の講義を受け、ざる菊の色毎に班を編成し作業しました。猛暑の中でしたが真剣に取り組み、2時間半で作った6色のざる菊800ポットは、定植まで大事に管理されます。10月下旬には、名入ざる菊園以外の植栽を含めると、1000株を超えるざる菊を鑑賞できると思いますので、どうぞご期待下さい。本年も「名入ざる菊園」の応援をお願いいたします。

※名入ざる菊園では、地区内外問わず積極的に作業に参加出来る方のご入会を、会員一同心よりお待ちしております。

除草作業を行いました 文・写真 諏訪典子さん(大谷)

6月5日、大谷ボランティアすみれ会の会員8名が、大谷グラウンド、圓福寺、春日神社境内の除草剤散布作業を行いました。圓福寺、春日神社は、例年刈り払いや草むしりで大変苦労していましたが、今年は境内の清掃作業も楽になると喜んでいました。大谷グラウンドは、グラウンドゴルフなど、地区のみなさんの楽しい健康づくりの場として整備しています。



消火栓の使用訓練～滝谷婦人会

文・写真 目黒民一さん(滝谷)

6月6日の夜、滝谷婦人会では消火栓の使用方法について訓練を行いました。この日は、町消防団滝谷班の毎月の定例召集日で、団員による通常点検等を視察し、その後団員からの説明と指導を受け、消火栓を使ってホースの着脱や放水等に真剣に取り組みました。会員は有事の際の備えを再認識するとともに、各家庭から絶対に火災を出すことのないよう誓いを新たにしました。



アメシロ駆除作業 文・写真 佐々木邦雄さん(検原)

例年アメシロが発生しやすい梅雨入り前の、6月18日午前8時より、区長と地区役員計10名がアメシロ駆除作業を実施しました。天候に恵まれ、居平と上新田道路沿いを中心に落葉樹(サクラ、柿、梅等)を目標に薬剤散布を2時間ほど行いました。散布機は町より貸与され、薬剤も提供いただきました。作業実施日のお知らせを事前に配付し、人や動物、農作物、洗濯物への飛散防止に努めています。作業された皆さんは効果ありと判断し、晴れやかな気持ちで解散しました。

高清水・小山健康を守る会 研修旅行

文・写真 菅家敏一さん(高清水)

6月25日、今年も恒例の研修旅行に出かけ、芝居や歌謡ショーを堪能してきました。懇親会で歌を歌う姿は年齢を感じさせず、大いに盛り上がりました。年に一度ですが、多数の参加により、地区の結束力が増す素晴らしい旅行です。カラオケは歌詞を目で「見て」メロディを耳で「聴いて」唄を口で「声を出し」と頭の体操には何より効果的では、とテレビでも紹介されていました。

皆さんどうぞ暑さに負けないでお過ごしください。



春の人足で道路や側溝がスッキリ!

文・写真 本名与四郎さん(西方)

地区の春の人足は5月14日に行われました。当日は天候にも恵まれ、14組の隣組はそれぞれ決められている人足箇所の活動に汗を流しました。隣組によっては出役人数が少なく、隣組同士が協力し合う場面もみられました。今後、ますます高齢化が進み人足実施が危ぶまれます。各隣組とも、休憩をはさみながら、中学生の頃、杉植えを手伝ったことや、夏休みとなると今では使われていない冷たい堤で泳いだことなど思い出深い話を聞くことができました。

人足を通して、地区の方々の絆や交流の大切さを感じた日でした。



案内看板除幕式 文・写真 小島純さん(宮下)

地区内の三島神社境内に「種蒔き桜」として親しまれている、オオヤマザクラの遊歩道案内看板が完成し、5月28日に除幕式が行われました。看板に表示されているオオヤマザクラは樹齢200年以上で、昔から開花すると、畑に種をまく時期の目安にし、「種蒔き桜」として親しまれてきました。地区では、この看板設置を機に、町内外の人たちに、開花の時期にこの遊歩道を散策してくれることを期待しています。



愛称小径ウォーキング&バーベキュー

文・写真 小島純さん(宮下)

5月28日、地区と分館事業の一環として、親睦を目的に恒例のウォーキングとバーベキューを開催し、地区住民約30名が参加しました。宮下活性化センターを出発し、Aコース(約1.5km) Bコース(約1km)を選択し、地区内の愛称小径やアーチ三兄弟、種蒔き桜遊歩道などを歩き、三島神社階段を下りてセンターに戻り、その後バーベキューでお互いの親睦を図りました。なお、ウォーキング中は各自道路のゴミ拾いも行い、町内の美化に努めました。



宮ノ前の2組のオシドリ夫婦

文・写真 菅家壽一さん(間方)

田植えもすっかり終わった5月末の宮ノ前の田んぼに、二組のオシドリ夫婦が現れました。

一組は、昨年から住み着いているオシドリ一対です。いつでもお互いの様子を見ながら、片時も離れません。もう一組は、仲良く補植をする老夫婦です。この夫婦も、農作業はいつも2人仲良く一緒にいます。この日も、こんなにそばに居なくてもと思うほどでした。

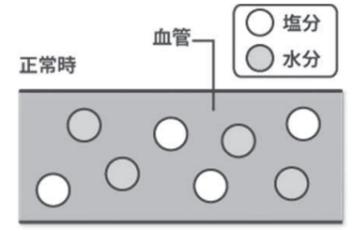
こんな風景が、いつまでも見られるよう願わずにはいられません。



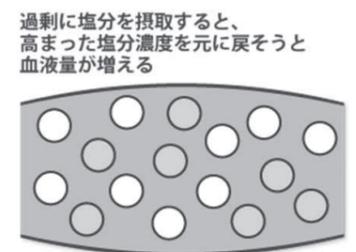
毎月17日は減塩の日です!

vol.6 健康で元気な毎日!
町民課保健福祉係 ☎48-5565

なぜ減塩が大事?
高血圧の原因の主なものは、塩分の摂りすぎです。塩分を摂りすぎると、腎臓にあるセンサーが高い塩分濃度状態を察知し体内の塩分濃度を下げようと、水分を血管内に吸収します。すると、血液の量が増加し血管はパンパンの状態になり、高血圧となります。よって、高血圧の予防には、減塩が効果的と言えるのです。



塩分摂取の現状と減塩の工夫
2015年の調査では成人の1日当たりの平均塩分摂取量は男性11.0g、女性9.2gで、高血圧学会の推奨する6.0gを大幅に超えています。
対策として、多くの減塩商品ができています。たとえば、普通のカップめん1食分の食塩相当量はおおよそ5~6gで、学会が推奨する摂取量を一度に摂ってしまいますが、減塩(1.82g~2.7g)のカップめんが発売されています。その他にも学会の支援を受け、ダシなど様々な減塩商品が開発されていますので、上手に取り入れて塩分の摂りすぎを防ぎましょう。

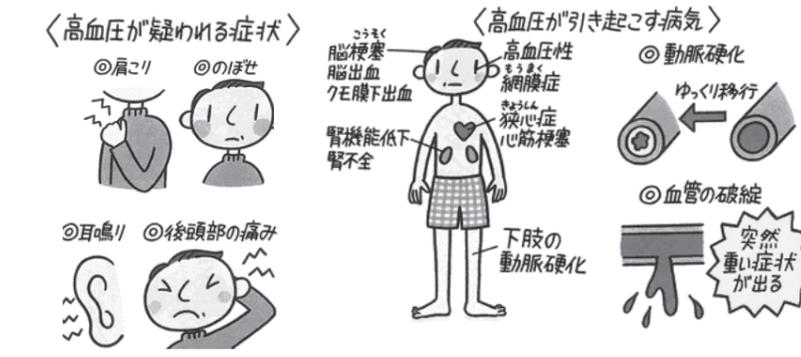


<三島町生活習慣病の発生状況>

単位：人

	糖尿病	高血圧	脂質異常症
平成24年	50	122	77
平成25年	50	119	80
平成26年	54	117	78
平成27年	55	132	94
平成28年	56	127	96

(国保状況)



※毎月17日の「減塩の日」は日本高血圧学会が今年発表し、日本記念日協会によって認定されたものです。

図書のご案内

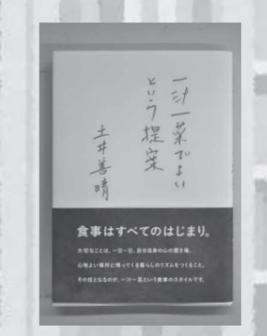
町民センターゆめぼけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・山と溪谷・オレンジページ・壮快・Number

- 利用時間
①~④ 午前9時~午後9時
⑤・祝日 午前9時~午後5時
- お休み
年末年始
☎公民館 ☎(48)5599

●今月のおすすめ

『一汁一菜でよいという提案』
著者：土井 義晴
「この本は、お料理を作るのが大変と感じている人に読んで欲しいのです」~料理研究家の土井さんが一汁一菜(ご飯と具沢山の味噌汁)の具体的な実践法を紹介しつつ、家庭料理の役割や料理する事の大切さなどを説いています。



●新着本の紹介

題名	著者
和僑	楡 周平
やめてみた	わたなべ ぼん
いっさいはん	minchi (みんち)
ぼくのニセモノをつくるには	ヨシタケ シンスケ

町史編さん室だより 第18回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで一報ください。
☎(52)2165

間方、浅岐の木地挽 (浅岐・間方地区)

五月下旬、松崎大さん(地域おこし協力隊)と一緒に間方を二度訪問しました。特に大日如来の伝承地の堂平や、木地挽の墓碑等を調査しました。木地師・木地屋などと表記する場合もありますが、三島町に残された史料では『木地挽』と表現しています。
入間方に入り、久保田昭一さん(昭和一九年生まれ)に、大沢の左岸にある木地挽墓碑まで案内していただいたところ、一基あった墓石には戒名と右側面に嘉永五年(一八五二)二月の記録がありました。

かし明治時代後半には移転したようです。志津倉山の周囲には、木地挽の集落が柳津町琵琶首、昭和村小野川、柳沢等で近世に営まれています。また浅岐の入山沢上流のコテキガサワ付近にも文政年間(一八一七年頃)に木地小屋が二軒建てられ、ブナなど広葉樹を伐り、ろくろで椀型を作り、若松まで出荷、漆が塗られ、いわゆる会津塗椀(漆器)となりました。

大谷川流域は、志津倉山をはじめ山々の森林資源を利用してきた歴史があります。今回見てきたように木椀の材料として使ったり、焼いて木炭にし燃料としたり、江戸時代には柳津の虚空蔵尊の本堂の普請の材料として大木を出したという記録もあります。森林の変化、そしてどのように利用してきたかは社会の変化を反映しており、奥山であっても社会と密接につながっていることがわかります。

『永源寺町史』木地師編上巻(滋賀県永源寺町)に、この入間方の木地挽の記録があります。安政四年(一八五七)の氏子駆帳に金山谷大谷組間方山大沢の小椋忠八・幸蔵・源左衛門の三軒が記録されています。そして明治二六年(一八九三)の寄進帳には「大沼郡間方村木地」として小椋重次郎(鹿造代印)・小椋岩八(鹿造代印)の二軒が記載され、間方村木地布沢村木地会所 小椋鹿造宅となっています。小椋鹿造は只見町布沢の木地挽です。これらのことから入間方の木地小屋で少なくとも四〇数年の活動が確認できます。し

浅岐に残された史料「文政元年(一八一七)八月原木減少につき定書」(『福島県史十下』)によると、浅岐村名主と本名山(現在の金山町)から浅岐の山中にきた二名の木地挽(磯松・徳左衛門)が契約書を取り交わしています。山菜類は食べる分は採ってよいが販売してはならない、トチの木は伐採禁止、漆の木の下に畑を作ってはいけない、そのほか利用料(斧役)は二〇歳から六〇歳まで男の人数分を支払うことなどが決められています。しかしこの浅岐の木地挽も、大谷村が水没する洪水があり、その後沼沢湖を震源とする地震等により暮らしが成り立たず、他所に移転しています。



間方木地屋敷跡にて

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭



「給食室のお知らせ」が目印です

災害時に備えて水や食料品を備蓄されているご家庭も多いと思いますが、普段食べない食品を備蓄食材としてしまい込むと、気がついたら賞味期限が切れていたということもありますね。そこで、普段食べている食品の中から常温で日持ちするものをリストアップして、備蓄品に加えることをおすすめします。缶詰やインスタント食品、乾物などは買い物に行けないときなども役に立ちます。日常の食事にとり入れれば常に新しい食品を備蓄できて安心ですね。

「備蓄しておく便利な食品」「備蓄品を使った簡単アレンジ料理」を宮下病院の内科外来前に掲示しています。料理レシピは毎月更新していますので、興味がある方はぜひご覧になってください。

宮下病院 管理栄養士 小野 知恵

◆**栄養士のつぶやき**
【いつもの食品を備蓄品に】

7月 愛ばんしょ外来のお知らせ



宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています

- ① 病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ② 地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③ 地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供を目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

月 日	内 容
7月13日(木)	・相談コーナー ・健康教室「おいしく食べて夏バテ予防」(講師：管理栄養士)
7月20日(木)	・相談コーナー ・健康教室「熱中症について」(講師：看護師)
7月27日(木)	・相談コーナー ・健康教室「夏野菜を使ったアレンジ料理」(講師：管理栄養士)

<時 間> 相談コーナー：午前9時～正午、午後1時～午後4時
健康教室：午前11時～午前11時30分

<場 所> 宮下病院 外来待合室

※愛ばんしょ外来の予定表は都合により変更となる場合がありますのであらかじめご承知ください。

<相談コーナーでは例えば…>

「健康のことを考えたいけど、何をすれば良いのか分からない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
などなど 医療、介護、生活に関することについてご相談をお受けします。

費用は無料です。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！
職員一同、心よりお待ちしております！

福島県立宮下病院 ☎0241-(52)-2321

地域おこし協力隊商工振興担当の佐藤です。今回は「よつてがんと夕市」と、その会場である「共栄産業」の今後の活用方法について報告いたします。

6月15日に行われた夕市はなんと30回目となり、平成27年の冬から始めたこのイベントも、三島町の生活の一部になり始めたなと感じています。これも皆さまのおかげです！はじめは会津宮下駅にあった100円店のようにコンパクトなものを想像して企画していたのですが、地元の商店やお母さん方、町外の事業所さんに賛同していただいたおかげで、共栄産業を埋めるまでの規模になりました。このイベントは私にとっても、直接町民の方に関ることのできる大切な機会であり、毎回楽しみにしております。最近、よく町民の方から「そこ(共栄産業)いつ始まるんだ」とお声をかけていただきます。もう少しです。もう準備段階には入っていますので、これからは暖かく見守っていただければと思います。これからもどうぞよろしくお祈りします。



お惣菜など様々な商品が並んでいます



開催30回を越えた、よつてがんと夕市の様子

～消防署からのお知らせ～

〈熱中症に注意しましょう〉

- 熱中症の応急処置
1. 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め安静に寝かせる。
 2. エアコンや扇風機などを付け、からだを冷やす。
 3. 脇の下、太ももの付け根を冷やす。
 4. 飲めるようであれば水分を少しずつ頻回に取らせる。



〈熱中症は予防が大切です〉

- 熱中症の予防策
1. こまめに水分(スポーツドリンクなど)を摂りましょう。
 2. 日中の暑い時間帯に外出するのを控えましょう。
 3. 室内ではエアコンや扇風機を活用しましょう。
 4. 屋外では帽子をかぶり直射日光を避けましょう。
- ※熱中症予防は個人での予防が大切ですが、周囲の人に対する気配りも予防につながります。



熱中症は予防ができる病気です。暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかり予防しましょう。心臓や肝臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。もし、熱中症の疑いがある場合には、すぐに119番へ通報してください。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032
FAX 52-3033

平成29年度自衛官採用試験のお知らせ

採用種目	資格	受付期間	試験	日時	試験会場	備考
自衛官候補生 (男子)	18歳～ 27歳未満	年間を通じて 行っております。	筆記試験	9月16日④午後	会津大学	筆記試験、口述 試験・身体検査 の両方を受験し ます。
			口述試験・ 身体検査	9月24日④～ 9月29日④、 10月1日④ ※指定する1日	福島駐屯地 郡山駐屯地	
自衛官候補生 (女子)	18歳～ 27歳未満	年間を通じて 行っております。	筆記試験 口述試験・ 身体検査	9月23日④	郡山駐屯地	
一般曹候補生	18歳～ 27歳未満	9月8日④まで	1次試験 (筆記)	9月16日④午前	会津大学	
			2次試験 (口述試験・ 身体検査)	10月5日④～ 10月8日④ ※指定する1日	福島駐屯地 郡山駐屯地	
航空学生	海：18歳～ 23歳未満 空：18歳～ 21歳未満	9月8日④まで	1次試験 (筆記)	9月18日④	郡山市 労働福祉会館	

試験日程は上記のようになっております。なお、詳しいことは担当の広報官にお尋ねください(受験料はすべて無料です)。**④**自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒岩字大坪57-1 ☎0242-(27)-6724

会津若松地方広域市町村圏整備組合より
消防職員募集のお知らせ

来年採用予定の消防職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数

試験職種および 採用人数	職務内容
消防職員 (4名程度)	消防署等において、警防、予防、 救急等の業務に従事します。男女と も原則として深夜業を含む交替制勤 務です(6ヵ月間の消防学校研修後、 各所属に配属されます)。

2. 受検資格

高校卒業程度の学力を有する方で、平成29年4月2日から平成30年4月1日までに生まれた者
身体の基準は、身体強健な者とする。

3. 試験申込書の請求

消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で
交付します。
消防本部のホームページ(アドレス <http://www.119-aizu.jp>)から受験案内・試験申込書をダウンロードすることができます。

4. 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、あ
て先を明記して120円分の切手を貼った返信用封
筒(A4判大)を同封し、会津若松地方広域市町村
圏整備組合消防本部総務課(〒965-0131)会津若
松市北会津町中荒井字諏訪前11へ郵送で請求し
てください。

5. 受付期間

平成29年7月12日④～平成29年8月10日④
(勤務時間中(午前8時30分～午後5時15分)
に限りです)
ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。
郵便による申込書提出の場合は、平成29年8月8
日④の消印があるものまで受け付けます。

6. 第1次試験

とき 平成29年9月17日④
ところ 教養試験 会津大学
体力試験 会津大学体育館

7. 問い合わせ

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務
課総務グループ
☎0242-(59)-1400(直通)

会津若松地方広域市町村圏整備組合より
事務局職員(行政職)募集のお知らせ

平成30年4月採用予定の職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数

行政職：1名程度

2. 受検資格

高校卒業程度の学力を有する方で、平成29年4
月2日から平成30年4月1日までに生まれた者

3. 試験申込書の請求

会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局・消
防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で
交付します。
整備組合のホームページ(アドレス <http://www.aizu-kouiki.jp>)から受験案内・試験申込書
をダウンロードすることができます。

4. 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、あ
て先を明記して120円分の切手を貼った返信用
封筒(A4判大)を同封し、会津若松地方広域
市町村圏整備組合事務局総務課総務係(〒965-
0037)会津若松市中央三丁目10-12へ郵送で請
求してください。

5. 受付期間

平成29年7月12日④～平成29年8月10日④
(勤務時間中(午前8時30分～午後5時15分)
に限りです)
ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。
郵便による申込書提出の場合は、平成29年8月
8日④の消印があるものまで受け付けます。

6. 第1次試験

とき 平成29年9月17日④
ところ 会津大学
内容 教養試験

7. 問い合わせ

会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局総務
課総務係
☎0242-(24)-6311

犬・猫の飼い主のみならずへ

1. 犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう

- ・犬は生涯に1回「登録」しなければなりません。
- ・「狂犬病予防注射」は毎年1回行う必要があります。集団接種以外
で予防接種を行ったときは、注射済証明書を持って役場に届け出ま
しょう。

2. 犬の放し飼いはやめましょう

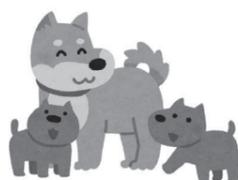
- ・飼犬の登録者に変更があった場合は、変更の手続きが必要です。
- ・飼犬が亡くなった場合は、死亡の届け出が必要です。
- ・犬の放し飼いは他人に迷惑をかけ、危害を与えるおそれがあるので、
福島県の条例で禁止されています。また、犬の散歩はリードを付けて
行いましょう。

3. 環境美化に努めましょう

- ・飼犬の「フン」の始末は飼い主の義務です。公共の場所(公園・道
路など)や他人の土地・建物を汚さないようにしましょう。

4. 小さな命を大切に！捨て犬、捨て猫はやめましょう

- ・犬や猫も家族の一員です。最後まで愛情を持って育てましょう。どう
しても飼えないときは、新しい飼い主を見つけましょう。飼い主が見
つからない場合は、動物愛護センターに相談してください。



☎動物愛護センター会津支所

☎0242-(29)-5517
町民課町民係 ☎(48)5555

高久庄三氏 叙勲受章記念に多額の寄附



浅岐地区出身の高久庄三氏（会津坂下町在住）より、叙勲受章を記念して町に多額のご寄附をいただきました。叙勲受章をお祝いするとともに、厚く御礼申し上げます。

大谷地区納税貯蓄組合に 福島県知事感謝状



大谷地区納税貯蓄組合に平成29年度優良納税貯蓄組合知事感謝状が贈呈されました。
同納税貯蓄組合は昭和42年に設立され、約50年にわたり町の納税に貢献していただきました。これらの功績が認められ、6月6日に福島県庁で行われた福島県納税貯蓄組合連合会定時総会の席上において、組合長の二瓶讓さんが贈呈を受けました。

齋藤就治さんに瑞宝双光章



齋藤就治さん（宮下）が、平成29年春の叙勲において、瑞宝双光章を受章しました。
齋藤さんは、昭和41年4月に小学校教諭に就き、教職歴38年の間、教頭、校長に就任したほか、いわき教育事務所長などを歴任されました。また、退職後は磐梯町教育委員会教育長として3期12年間幼・小・中一貫教育、英語教育の充実に取り組むなど、福島県の教育界の発展に寄与されました。

小柴修一さんに旭日双光章



小柴修一さん（西方）が、平成29年春の叙勲において、旭日双光章を受章しました。
小柴さんは、平成8年5月に町議会議員に当選以来通算5期20年にわたり在職され、町政の発展ために尽力されました。また、生涯学習センター「カタクリ」を拠点に、町の魅力発信をされたほか、町農業委員会委員、町監査委員を歴任され、長年にわたりまちづくりに貢献されました。

会津坂下警察署からのお知らせ

「電子マネー型」の被害に注意

5月29日、会津坂下町において、電子マネーを購入させる架空請求詐欺事件が発生しました。

▼事件の概要

5月29日のお昼ごろ、Aさん（40歳代、女性）の携帯電話に「有料動画の未納料金が発生しています」等のメールが送られてきました。Aさんは、身に覚えがありませんでしたが、メールに記載されている番号に電話すると「未納代の25万円を電子マネーで支払ってください」「コンビニ5カ所まで5万円分の電子マネー券を1枚ずつ購入し、ギフト券の裏面に記載された番号を電話で連絡してください」などのことを指示されました。Aさんは犯人の指示に従い、会津坂下町内の5店舗のコンビニエンスストア各店で5万円分の電子マネー券を購入し、裏面に記載された番号を犯人に教えてしまいました。その後Aさんは不安を抱き警察署を訪れ、警察官の指示により被害防止措置をとり被害を免れたものです。

電子マネー券を購入させてお金をだまし取る手口が増加しているでござる。
未納料金等の請求があったら、家族や警察に相談するでござる！



カクニンジャー福くん

◎福島県会津坂下警察署生活安全係
☎0242-（83）-3451

街頭犯罪発生件数（平成29年5月31日）

区分	管内	三島町
空き巣ねらい	3	
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗	2	
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	10	0
全刑法犯	44	2

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。
※右記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっております。

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

- 齋藤 行 紀 様（宮 下）
- 五十嵐 和 家 様（大石田）
- 渡部 和 久 様（大 谷）
- 栗城 佐 様（宮 下）
- 二瓶 勝 男 様（大 谷）

弁護士相談のご案内

弁護士相談
7月21日（金） 午前10時～
午後3時

町からお知らせ

7月分納税のご案内

【納期限】 7月31日

- ▼介護保険料（普通徴収・第2期）
 - ▼国民健康保険税（第2期）
 - ▼固定資産税（第2期）
- 忘れずに納付ください。
◎町民課町民係 ☎（48）5555

町の人口と世帯（6月1日現在）

人口	1,686	増減	-5	出生	2
男	824		-2	死亡	6
女	862		-3	転入	5
世帯	784		2	転出	6

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん

今月はおりませんでした。

末永くお幸せに

今月はおりませんでした。

お悔み申し上げます

五十嵐 紋 吉（91才・大石田）
五十嵐 利 次（91才・大 谷）

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。
◎総務課総務係 ☎（48）5511

身体と心の究極の癒しを求めて

星空×ヨガ



辺りも暗くなり始めたころ、本格的にヨガ教室が始まりました（写真手前：大竹さん）

三島町地域おこし協力隊が中心となって企画した「星空×ヨガ」は新月となる6月24日に開催され、町内外から150名が参加しました。

このイベントは美坂高原の活用を目的に、「ヨガ教室」と「星空観賞」を同日開催するという珍しい企画で、ヨガ教室では chainsyoga 代表の大竹沙紀さん（滝谷



星とヨガの関係についてレクチャー



町内飲食店も出店しました



星座にまつわるヨガポーズの実践

出身）、星空観賞では望遠鏡メーカーの(株)ビクセンより星のソムリエの方をお招きしました。当日はあいにくの曇り空となり、星はイベント終盤で少しだけしか見られませんでした。イベントについて参加者の方からは「外でヨガをやるのは初めだけどりラックスでした。最後に少しだけ星も見えて感動した」などの感想をいただきました。また、大竹さんからは「ヨガ教室でこれほどの人が集まったのは、美坂高原のような場所だからこそだと思えます」と感想をいただきました。

美坂高原を活用した野外映画上映会！

高原シネマ



8/19 18:00～ (土)

※内容は変更する場合があります。

次回予告

町長日記 ～三島の鼓動～

No. 24

この職に就かせていただき、任期の折り返し点に入りました。この2年間、職員は勿論ですが、議会の皆さん、そして町民の皆さんと一緒に振興計画や地方創生計画実現のために疾走してきたところであります。

雪国の生活文化を活かす三島町を創ることを理念として、その実現のために「交流人口の拡大から定住人口へ」を基本目標として、若者と高齢者が調和する町を目指して様々な事業を展開してきたところであります。

私の施策の原点は「三島プライド」と「挑戦」そして「進取の気風」の3点であります。40年前頃は、町づくりを代表する市町村は「県内では東の三春、西の三島」と言われ、職員はそのプライドを背負いながら「職員の間で自主的」な勉強会等を開催し、提案型の仕事をしてきたのも「挑戦する三島」を心の中心に持ち続けたからだと考えます。

時代的な背景は違いますが、三島の未来は過去にあるという信念で、健康ポイント制度事業やウォーキング教室、学校給食事業等々の健康増進事業をはじめとして、三島町史の編纂事業や若者住宅の建設、早戸温泉湯治棟の改築や少子化対策事業を実施し、町振興の基本は地区振興にありという理念を基とした地区支援事業は、多くの地区で展開していただいております。また、桐の振興を含んだ農林業の振興、そして観光振興等を広域視点の考えを入れながら推進します。また、小さな町の利点を活かして各種事業を関連付けながら、観光協会や商工会、民間団体や各地区の代表者と連携して地域振興を図ってまいります。時代のキーワードは、安全安心や健康、環境や自然、再生であります。40年間の三島の鼓動を胎動として今に活かしていく必要があります。三島の歴史や文化を今に活かす時代(とき)が来ていると考えます。チーム三島として町民の皆さんのお力を借りながら時代を創っていく覚悟であります。

三島町長 矢澤 源成